



わくわく 出水南

発行：校長 上妻 薫

5月 講話集会

「人間万事塞翁が馬」
にんげんばんじさいおうがうま

新しい学年になり1か月が過ぎました。新しい学年、教室、新しいお友達には、もう慣れましたか？校長先生は、今、朝から、みんなが登校してくる様子を見に行っています。みんなを応援してくれる地域の方や保護者のみなさんがたくさんおられるなと思います。とつても素敵な校区だなと思います。また、みんなのあいさつも素敵です。自分から挨拶を進んでしてくれる人、また、立ち止まってお辞儀をしてくれる人がいます。先日、立ち止まって、目を見て、心のこもった挨拶をしてくれたお友達がいて、感心しました。たくさんのおいさつ名人がふえることを期待しています。

今日は、「人間万事塞翁が馬」ということわざについてお話をします。1年生には、難しいかもしれませんが、しっかりと聞いてください。昔、中国に住んでいた塞翁(さいおう)というおじいさんの馬が逃げ出します。近所の人が気の毒がつてなぐさめます。しばらくすると、以前逃げた馬が、名馬を引き連れて戻ってきました。近所の人から「おめでと」と祝いの言葉をもらいます。すると今度は、馬に乗っていたおじいさんの自慢の息子が落馬して骨折します。その翌年、隣国との戦争がはじまりました。国の若者は戦闘に駆り出され、ほとんど亡くなってしまうのですが、塞翁(さいおう)の息子は足の骨折のため兵役を免れました。

生活の中には、楽しいこと、うれしいこと、辛いこと、悲しいことがあります。でも、何が幸福で、何が不幸かはすぐに決定できないということです。馬が逃げ出して悲しかったけど、その馬が素晴らしい馬を引き連れてきてくれて嬉しかった。でも、その後、素晴らしい馬に乗った息子が落馬するという悲しい出来事。でも、戦争に駆り出されずにすんだというように、一つの出来事をきっかけに、幸せなことに結びついたり、不幸のどん底に落とされたりします。



コロナ感染が急激に拡大し、ご心配をおかけします。学校でも、感染症対策を講じながら、教育活動を行っています。ご家庭でも、引き続き、ご協力をよろしくお願いします。



晴れの日も雨の日も地域の方や保護者の方が見守られています。素敵な校区です。



地域の方が、朝から、若宮神社の清掃をされています。素晴らしい校区です。



5月22日に予定していた運動会が急に秋10月2日に延期となりました。私も、楽しみにしていたので、とても残念でした。応援団やリレーの選手も決まっていたのに、本当に残念に思っている人も多岐かもしれません。でも、運動会が秋に延びたことで、4月から一緒のクラスになった友達、担任の先生とのつながりもしっかりとつことができそうです。また、新しい学年の学習をじっくりとすることができそうです。1学期の大きな行事は2学期に延期になりましたが、その分、違うことや新しいことに取り組むことができるチャンスだと思えます。「人間万事塞翁が馬」運動会の延期を幸せなチャンスに結び付けてほしいと思います。出水南小のみなさんなら、きっとできる！そんな気がします。